

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】令和3年10月14日(2021.10.14)

【公開番号】特開2020-49130(P2020-49130A)  
 【公開日】令和2年4月2日(2020.4.2)  
 【年通号数】公開・登録公報2020-013  
 【出願番号】特願2018-183781(P2018-183781)  
 【国際特許分類】

A 6 1 F 9/008 (2006.01)

【FI】

A 6 1 F 9/008 1 0 0

【手続補正書】

【提出日】令和3年9月3日(2021.9.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

患者眼を治療する眼科用レーザ治療装置であって、  
 前記患者眼に治療光と照準光を照射するレーザ照射手段と、  
 前記患者眼の眼底を撮影することで眼底画像を取得する撮影光学系と、  
 制御手段と、を備え、  
 前記制御手段は、前記眼底画像から前記照準光を検出し、前記眼底画像に対する前記照準光の位置を変更することを特徴とする眼科用レーザ治療装置。

【請求項2】

前記制御手段は、前記撮影光学系の収差によって生じる、前記眼底画像と前記照準光との位置ずれを補正することを特徴とする請求項1の眼科用レーザ治療装置。

【請求項3】

前記制御手段は、前記レーザ照射手段と前記撮影光学系との光軸ずれによって生じる、前記眼底画像と前記照準光との位置ずれを補正することを特徴とする請求項1の眼科用レーザ治療装置。

【請求項4】

前記撮影光学系は、2種類以上の分光感度を有する受光素子を備えることを特徴とする請求項1～3のいずれかの眼科用レーザ治療装置。

【請求項5】

前記制御手段は、前記撮影光学系の撮影に同期して前記照準光の点灯を制御し、前記照準光が点灯された状態で撮影された点灯画像と、前記照準光が消灯された状態で撮影された消灯画像との差分に基づいて、前記照準光を検出することを特徴とする請求項1～4のいずれかの眼科用レーザ治療装置。

【請求項6】

患者眼を治療する眼科用レーザ治療装置において実行される眼科用レーザ制御プログラムであって、前記眼科用レーザ治療装置のプロセッサによって実行されることで、前記患者眼に治療光と照準光を照射するレーザ照射ステップと、前記患者眼を撮影する撮影ステップと、前記撮影ステップにおいて撮影された前記患者眼の眼底画像から前記照準光を検出する検出ステップと、

前記眼底画像に対する前記照準光の位置を変更する変更ステップと、  
を前記眼科用レーザ治療装置に実行させることを特徴とする眼科用レーザ制御プログラム

。